

神栖市における有機ヒ素汚染源 調査等についてのお知らせ

発行・編集 環境省 環境リスク評価室、茨城県 環境対策課、神栖市 環境課、(株)鴻池組

総合調査検討会の結果について

1月31日(水)午後平成18年度第5回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会を開催しました。神栖関連の主な内容は次の通りです。

茨城県神栖市における地下水モニタリング(秋季)の結果について

2006年秋季の地下水モニタリングの結果について報告しました。主な報告内容は以下のとおりです。

- ・ 2006年10月の多雨の影響により、全体的に地下水位が上昇した。
- ・ 掘削調査地点付近や A 井戸近傍地域では、ジフェニルアルシン酸(DPAA)の濃度が夏季よりも全体的に減少した。
- ・ B地区については、汚染範囲はこれまでと大きな違いはなく、汚染は深度30mを主体としている。
- ・ ABトラック南西地域のモニタリング孔(M-27)より、新たに DPAA が検出された。(既報)

検討会の資料は環境省ホームページに掲載されています。

(http://www.env.go.jp/chemi/gas_inform/sonota_singi/sonota01.html)

掘削現場での容器詰め替え工の終了と保管テントの解体・撤去等について

掘削テント内における容器詰め替え作業は、2月13日(火)をもって終了しました。密閉容器の数は、最終的には約9万7,600個となりました。

このうち、汚染土壌(約2,600パレット、密閉容器数約9万3,600個)については、2月13日(火)に鹿島臨海工業地帯内の新設保管テントへの搬出作業が終了しました。

また、コンクリート様の塊(密閉容器数約4,000個)や廃フレコンバッグ等の廃棄物については、現時点では、鹿島共同再資源化センターにおける焼却処理を行うまでの間、掘削テントの敷地内で保管することとしており、焼却処理は平成19年度に行う予定です。

保管テントの敷地内では、今後、テント内清掃、排気設備撤去を行った後、テント及び基礎の解体・撤去、グラウンド整地等の復旧工事を開始する予定です。

掘削テントについては、テント内で予定している作業が終了したことから、今後、詰め替え設備の撤去・後片付け等を行い、4月を目途に掘削エリアの埋め戻しを行った上で、テントの解体・撤去を開始する予定です。また、コンクリート様の塊等の保管を行うための設備を掘削テントの敷地内に別途設置し、処理のため搬出するまでの間、保管業務を行うこととしております。

掘削テントおよび保管テントにおける当面のスケジュール(予定)は次表のとおりです。4月以降の予定については、別途、ご連絡いたします。

工事もいよいよ終盤にさしかかりましたが、安全・確実に進めてまいります。現場周辺での搬入車両が多くなっておりますが、交通誘導等万全の体制で周辺の皆様の支障のないよう実施いたしますので、宜しくお願いいたします。

掘削tentおよび保管tentにおける当面のスケジュール（予定）

		2月				3月			
		4	11	18	25	4	11	18	25
掘削tent	汚染土壌詰替工 搬出工	[Bar from Feb 4 to Feb 11]							
	詰替設備撤去 片付け工	[Bar from Feb 11 to Feb 25]							
	廃フレコン等 産廃物整理	[Bar from Feb 11 to Feb 18]							
	掘削tent解体・撤去 に向けた準備	[Bar from Feb 4 to Feb 25]				[Bar from Mar 4 to Mar 25]			
保管tent	tent清掃 解体	[Bar from Feb 4 to Feb 25]							
	基礎碎石撤去					[Bar from Mar 4 to Mar 18]			
	グラウンド整地工 バックネット等復旧					[Bar from Mar 18 to Mar 25]			



保管tent内の清掃作業状況

お問い合わせ・御質問は下記の窓口へ御連絡下さい。

鴻池組現場事務所 0299-92-0862

環境省環境リスク評価室 03-5521-8262 (<http://www.env.go.jp>)

茨城県環境対策課 029-301-2966 (<http://www.pref.ibaraki.jp>)

神栖市環境課 0299-90-1146 (<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp>)